

Q1.入社を決め手は何でしたか？また、就職活動の際に重視した点について教えてくださいませんか？

入社を決め手ですが、劑盛堂薬品が一貫製造(原料の生薬からエキスを抽出した後、製剤工程、包装工程を経て市場に出すまでの全ての工程を行う)を行っている会社であることが大きな要因の一つです。一貫製造を行っているんです。一部他社さんでは、製造の方はもう完全に他社さんに依頼するというのをされている会社さんもあるんですが、弊社では最初から最後まで担当できる、そう知ることができ、学ぶことができるというところが他では得られない経験を積めるかなというところでの入社を決め手になります。

就職の際に重視した点についてなんですが、本当に一般的によくあるような話になっちゃうんですけども、私は企業の方針とか理念の方を私なりに納得して理解できるかどうかというところを重視していました。その会社が一番大事にしていることになるので、一緒の方向を向いて歩いていけるかというところになるかなと私は思っていたので、そこを重視して弊社の理念の方も共生(共に生きる)という理念を私は理解して納得できたので、そこも入社を決め手になりました。

Q2.大学ではどのような研究をされていたのでしょうか。

大学では私は院の2年も行ってまして同じ研究室に引き続き4年ほど研究をさせていただいていたんですけどそこで天然物というところとちょっと範囲広いですけれども、絞って柑橘系の果実、完熟にスーパーで出回っているようなものではなくて、まだ青い、これからおいしくなるぞというところのものハッサクとかミカンとかを使った研究をしまして、全然今の職業・業務とは関係ないような実験ばかりしていました。本当に動物実験とかだったので、今全然そんなことはしてなくて、あまり研究内容と職務内容がとくには合致していないかなと。

Q3.製薬関連の企業で働くために取得された資格があれば教えてください。

私は特に資格は取ってません。ただ、4年制の方も薬学部出身だったので、結構製薬の研究職となるとやはり院制であったとか、皆さんのような6年制の学部を出られているということが前提としてなっていたので、そのために院に2年行っていました。

Q4.現在どのような研究をされていますか。もし可能であれば教えてください。

現在はヨクイニンという生薬があるんですが、肌の荒れとかイボとかに効くとされている生薬なんですが、それを使った製剤はどんな特徴があるのかなというところを、自社の製剤とか、実際に市場に出ているような製剤とかを合わせて、どんなものが出ているのかなという研究をしています。

Q5.入社してから大変だったことについて教えてください。

学生時代だと勉強しにしている立場なので。あまり適切かわからないんですけど、

かっちりかっちり責任を求められるような立場でなかったですが、今は社会人としてお金をいただいて働いているというところで、学生時代と違って本当に自分のすることもこれからやっていこうとしていることに対しての責任や計画性なんかを求められるところが一番大変だなと感じています。

Q6.業務の中でやりがいを感じた瞬間について教えていただけますか。

私はこれまで製剤の申請とかの業務ではなくて基礎研究のほうにさせていただいているんですけども、基礎研究を一区切り終えて報告書、レポートのようなものを書くんですが、レポート出来上がったときに、そこに自分のやってきた実験の内容とかデータとか、そこから得られた結論とかも書いていますので、自分がやったことが形になっているので、それでやりがいを、やれたなというところにやりがいを感じています。

Q7.御社の職場環境で、特に気に入っている点を教えていただけますか。

職場の同僚の先輩後輩間、皆さん仲良く、ほのぼのというかお話もでき、おしゃべりできる関係性で、そこが一番特に気に入っている点です。お昼休みとか、お弁当食べた後、集まっておしゃべりするとか、よくあるのでそこが特に気に入っています。

Q8.最近、ジェンダーの平等とかが結構言われてると思うんですけど、職場において平等になってるなって感じる時とか、ここまだ格差があるなって感じる瞬間があったら教えていただきたいです。

今の職場でいうと、これは完全に格差だろうっていうのは全然なくて、女性の私の先輩とか、長年勤められてた事務員さんとかがこないだ昇格をされまして。そういったところで、同じスタートから入社して勤務経験を積んで昇格できるというところにおいて、平等かなってふうには、感じています。

職場の方は本当に女性の比率がとても高くなっていて、そこも総じて平等に近づいていってるかなと私は思います。

Q9.製品の市場調査に関わる機会はありますか。また、実際に使用者の方から感想を聞くことはあるのでしょうか。

直接どちらもこちらから携わることはないのですが、間接的に先ほどお話したような私の今の研究内容で今どんな市場にどの製剤が出回っているのかを知ることはもちろんありますし、使用者からの感想というのは、弊社で使用者の方と直接携わる部署を通じて、こういう意見いただきましたとか、こういう薬で製材・製品で体調良くなりましたとか、長年の悩みが解決できましたみたいなお話は、本当に会社全体でそのお話は聞くので、頻繁に感想は聞かしていただけてると感じています。

Q10.薬学部生が、漢方について特に知っておくべきことはありますか。

私は4年制の学部を卒業しているので、6年制の皆さんとまた学んでいる範囲とか必要になるレベルがまた違ってくるのかなと思うんですけど、薬学部という全体で教えるのであれば、結構一般的に漢方ってあまり聞かないんじゃないかとか、苦手、飲みにくいんじゃないかみたいな、そういう目というか感想とか印象があると思うんですけども、結構の弊社の製品に限らず、ドラッグストアとか行っていただいたら、本当に錠剤で、全然臭みとか苦みとか感じにくいようになっている製品とかもいっぱいありますし、結構有名な漢方薬でいうと、芍薬甘草湯とか習ったりされましたか？こむら返りとか足つたときに効くみたいな。

【学生】習ったか覚えてないんですけど、時々聞く名前だなと思います。

結構メジャーなものかと思うんですけど、即効性のあるものももちろんありますし、薬学部で6年生だったら多分薬局とかでも取り扱われることもあるだろうなと思いますので、そういうところも知って、実際に現場で使うことがあれば、これも普通に薬として、扱っていただけたらなと思います。

Q11.就職活動の際に気をつけるべき点や、学生時代にしておくべきことがあれば教えてください。

就職活動の時にしてきたことは、自分の就活の軸っていうところを、就活をする際に皆さん聞かれるワードかなと思うんですけども、何を大事にして、何を目指している就職・職場を決めるのかというところで、絶対に譲れない、譲りたくないというところは絶対に譲らない、私で言うと先ほどの会社の理念が理解できるかどうか、他でいうと、結構一般的に人間関係が良好かどうかとか、仕事内容が自分に合っているかどうかとかもよく聞きますし、そういったところで絶対に譲りたくないところを決めて就職活動に打ち込むことかなと。学生時代に知っておくべきことは本当に勉強をしっかりとよく遊ぶことかなと思います。一般的によく言われることなんですけど、学生時代でしか勉強打ち込むこととかできないことですし、遊ぶこともやっぱり薬学部で忙しい学部かなと思うんですけど、それでもやっぱり今より時間あったなと思うので、こちらも特に打ち込んでいただけたらなと思います